

New

201/202

クラウド時代に活躍する技術者の証明、LinuC。
仮想マシン・コンテナを含むLinuxシステム、
ネットワークの設計・構築なら、レベル2。

LinuC
リナック

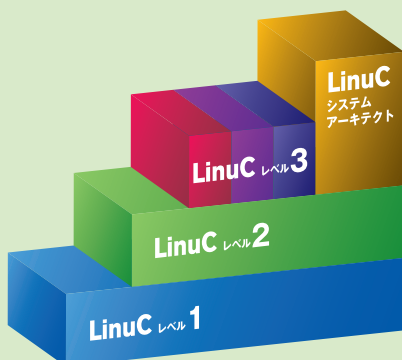
Level

多様な機器がネットワークにつながり、
クラウドを活用したシステム連携による価値の
増大と主要技術のオープンソース化が進展しています。
また一方でシステムの多様化も進んでいます。
新生LinuCレベル2 Version 10.0は、
様々な役割を持ったサーバや、物理、仮想など
多様化する環境で構成されるLinuxシステムにおいて
自立した技術者として活躍できる中級エンジニアの証です。

仮想環境を含むLinuxのシステム設計、ネットワーク構築において、
アーキテクチャに基づいた設計、構築、運用・保守ができるエンジニアとして認定されます。



1. Linuxシステムの設計、構築、監視、トラブルシューティングができる。
2. 仮想マシンやコンテナの仕組みを理解し、その管理と運用ができる。
3. セキュリティとシステムアーキテクチャの基本を理解し、サービスの設計、構築、運用・管理ができる。



LinuC システムアーキテクト
ITプロジェクトを成功に導く上級エンジニア

SA01試験 SA02試験

LinuC レベル3
高度な技術力を備えた特定分野のスペシャリスト

304試験 (仮想化/高可用性)

300試験 (現在廃止) 303試験 (セキュリティ)

LinuC レベル2
仮想マシン・コンテナを含むLinuxシステム、
ネットワークの設計・構築

201試験 202試験

LinuC レベル1
物理・仮想Linuxサーバの構築・運用

101試験 102試験

レベルについて —— 4種類のレベルで体系的な知識と、実用的な技術を習得

- LinuCにはレベル1、レベル2、レベル3、システムアーキテクトの4種類のレベルがあり、上位レベルの認定には下位レベルの認定が必須です。
- レベル1、レベル2に認定されるためには、レベル毎に2つの試験の合格が必須です。
- レベル3に認定されるためには、300試験、303試験、または304試験のいずれかひとつの試験に合格し、有意なレベル2認定を保有している必要があります。
- システムアーキテクトに認定されるためには、SA01試験とSA02試験の両方に合格し、有意なレベル2認定を保有している必要があります。

エンジニアとしての“即戦力”の証明ならLinuC!

LinuC レベル2 出題範囲



LinuCレベル2に認定されるためには、有意なLinuCレベル1を保有し、2試験 (201試験と202試験) を5年以内に合格する必要があります。

※) Version 10.0の出題範囲は全面的な改定を行い、すべての項目を見直しています。新たな項目にはNewと示しています。

201試験

主題	内容
システムの起動とLinuxカーネル	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブートプロセスとGRUB ・ システム起動のカスタマイズ ・ Linuxカーネルの構成要素 ・ Linuxカーネルのコンパイル ・ Linuxカーネル実行時における管理とトラブルシューティング
ファイルシステムとストレージ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルシステムの設定とマウント ・ ファイルシステムの管理 ・ 論理ボリュームマネージャの設定と管理
ネットワーク構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なネットワーク構成 ・ 高度なネットワーク構成 ・ ネットワークの問題解決
システムの保守と運用管理	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ makeによるソースコードからのビルドとインストール ・ バックアップとリストア ・ ユーザへの通知 ・ リソース使用状況の把握 ・ 死活監視、リソース監視、運用監視ツール ・ システム構成ツール
仮想化サーバー	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想マシンの仕組みとKVM ・ 仮想マシンの作成と管理
コンテナ	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテナの仕組み ・ Dockerコンテナとコンテナイメージの管理

202試験

主題	内容
ネットワーククライアント管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ DHCPサーバーの設定と管理 ・ PAM認証 ・ LDAPクライアントの利用方法 ・ OpenLDAPサーバーの設定
ドメインネームサーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ BINDの設定と管理 ・ ゾーン情報の管理 ・ セキュアなDNSサーバーの実現
HTTPサーバーとプロキシサーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ Apache HTTP サーバーの設定と管理 ・ OpenSSLとHTTPSの設定 ・ nginxの設定と管理 ・ Squidの設定と管理
電子メールサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ Postfixの設定と管理 ・ Dovecotの設定と管理
ファイル共有サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sambaの設定と管理 ・ NFSサーバーの設定と管理
システムのセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ iptablesやfirewalldによるパケットフィルタリング ・ OpenSSHサーバーの設定と管理 ・ OpenVPNの設定と管理 ・ セキュリティ業務
システムアーキテクチャ	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高可用システムの実現方式 ・ キャパシティプランニングとスケーラビリティの確保 ・ クラウドサービス上のシステム構成 ・ 典型的なシステムアーキテクチャ

出題範囲の詳細と最新情報は <https://linuc.org/linuc2/range/> で必ずご確認ください。

受験申込について

■ 受験の特徴

- 日本を含む世界のテストセンターまたはオンライン(*1)で受験可能です。
- 受験日時をご自分の好きな日時で予約可能(*1)です。
- 受験にはEDUCO-IDが必要です。

■ 初めて受験される方へ

- ① EDUCO-IDの新規取得ページでアカウント登録をし、EDUCO-IDを取得。
<https://linuc.org/exam/>
- ② 下記テストセンターのWebサイトまたはTELで受験申込。

■ 受験予約

受験を希望するテストセンターの検索や試験予約はピアソンVUEで行うことができます。

ピアソンVUEテストセンター

(*1) <https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>
TEL: 0120-355-173 (受付時間: 祝祭日を除く月曜日～金曜日 9:00～18:00)

■ 受験料

16,500円(税込) / 1試験

お支払いは、クレジットカード、コンビニ払い、銀行振り込み

認定を取得すると

- 認定証
- 認定カード (クレジットカードサイズ)
- ログデータ (名刺等に印刷できます)



詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

オープンテクノロジープロフェッショナル認定機関
特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(LPI-Japan)

Tel: 03-6205-7025 E-Mail: info@lpi.or.jp

詳しくはLinuCのホームページへ

LinuC

検索

LinuCに関するお役立ち情報はこちらをチェック。



ホームページ
<https://linuc.org>



メールマガジン
<https://lpi.or.jp/mail/>



@lpi_japan



<https://www.facebook.com/lpijapan/>